

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 1 日

事業名称		建設工事統計調査費 [建設工事統計調査事務事業]										
予算科目	款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	2	統計調査費	事業番号	20	
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
担当部署・課長名		都市計画 課 計画調整 係				課長名		稲毛 秀憲				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		4 - 1		
【施策名】 市街地の整備								総合計画書(ページ)		83		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	受注動態調査・施工統計調査それぞれで抽出された市内の建設業許可を得ている事業所 →					抽出された事業所数(①受注動態調査②施工統計調査)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	抽出された事業所に統計調査票を適正に記入してもらい、提出してもらう。 →					調査回収率 ① {(提出件数) / (抽出された事業所数 × 12か月分)} ② 提出件数 / 抽出された事業所数						
3	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	・抽出された事業所に提出を依頼する。 ・提出された統計調査票を確認し、不明箇所の聞き取り等を行う。 →					提出事業所数(①受注動態調査②施工統計調査)						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	件	① 1 ② 36	① 1 ② 30	① 2 ② 30						
	成果指標	②の数値	%	① 100 ② 38.8	① 100 ② 46.7	① 100 ② 46.7						
	目 標	②の目標値	%	① 100② 60	① 100② 60	① 100② 60		① 100② 60		① 100② 60		
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) ①は継続的な調査を行うことが重要となるため、②は実態として実現可能な数字の中での設定とする。											
3 経費	活動指標		③の数値	件	① 1 ② 14	① 1 ② 14	① 2 ② 14					
	事業費(実績)		円	53,979	56,086	54,889		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	4,324	6,686	2,929						
		特定財源	円	49,655	49,400	51,960						
		(うち受益者負担)		円	0	0	0					
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	50.0	50.0	50.0					
	所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0							
	職員人件費(再任用以外)	円	210,000	215,000	215,000							
職員人件費(再任用)	円	0	0	0								
事業費+人件費		円	263,979	271,086	269,889							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く											
	抽出事業者からは、都市建設部職員が調査員となっていることに対し、普段の業務と密接に関連するため不信感を持たれることがある。											
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く											
統計主管課が実施することが適当と思われる。												